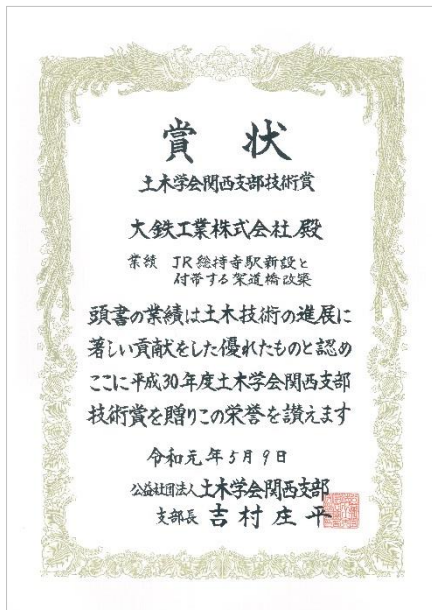


『2018年度 土木学会関西支部技術賞』を受賞

(JR 総持寺駅新設と付帯する架道橋改築工事)

当社が携わった JR 総持寺駅新設とこれに付帯する架道橋改築工事において、令和元年 5 月 9 日に公益社団法人土木学会関西支部より、2018 年度の「土木学会関西支部技術賞」を受賞いたしました。

本業績は、輸送密度の高い線区である JR 京都線の摂津富田・茨木駅間に JR 総持寺駅を新設するにあたり、狭いヤードでの架道橋の改築における安全と品質を確保する取組みや近隣の民家・線路への影響を軽減する構造計画の採用、そして ICT 技術の活用等の種々の技術により約 5 年かけて工事を完成し、道路・鉄道の安全性向上を実現したことが高く評価されました。



JR 総持寺駅 全景

茨木市北東部における公共交通の利便性向上に大きく寄与しています。



改築後の架道橋

改築により空頭が確保され、道路鉄道双方の安全性の向上が図られています。

【土木学会関西支部技術賞】

土木技術の発展に貢献する優れた業績を表彰するもので、複数の視点を総合的に評価される『技術賞』と、個別の視点に秀でた『技術部門賞』からなります。